



あずっ子

こどもも おとなも 元気いっぱい 東町小!

入間市立東町小学校学校だより

8月25日発行

発行者 校長 野口正孝

在籍児童数472名(8/25現在)

2学期の学校経営

長かった夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。登校する子どもたちには笑顔が見られ、新しい学期の始まりにワクワクしている様子が見られました。しかし、新型コロナウイルスの第7波は予想以上の広がりを見せており、今回の始業式はリモートとしました。今学期も新型コロナウイルス感染症の防止に努め、学校教育を推進していきます。2学期は行事の多い学期といわれています。運動会に始まり、市内体育祭や市内音楽会、なかよし集会など大きな行事もあります。また、遠足や社会科見学など、校外行事も多くなります。こうした一つ一つの行事に取り組むことによって、子どもたちは多くのことを学んでくれると思っています。

さて、4月に6年生が行った全国学力学習状況調査の結果が、7月末に送付されました。調査結果を結論から言うと、昨年度に比べ学力の向上が見られました。全国学力学習状況調査の結果は、学年の様子によって毎年変わります。ですから結果に一喜一憂することはありませんが、学力が向上していることはうれしいことです。半面、課題も見えてきました。ICTを使った学習については今後本校の課題となります。教員が研修を通して、子どもたちに ICT 機器を活用して力をつけさせることが課題となります。学習に対する粘り強さは、無回答率に現れます。本校の児童は、通常の問題では全国平均と大きな差はないのですが、プログラミングの問題に対しては大きく全国平均と乖離しています。(プログラミングというとプログラミング言語等難しく考えがちですが、そうではなくプログラミング的思考のことを言います。興味がありましたら問題が国立教育政策研究所のホームページに出ていますのでご覧ください。<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>)。こうした「考えることが中心」の問題では、ねばり強く取り組むことが難しいようです。今後は自ら考えて行動し、粘り強く取り組む経験をさせることが重要です。また、話し合いや共同作業は学習の中で取り組ませることが必要ですが、私は学校行事もこういった「協働」体験ができる場だと思っています。学校行事を周りの友達と協力しながら達成することで、座学だけでは経験できない学びを経験することができます。新型コロナウイルス感染症の予防に留意しながら、2学期もできるだけ多くの学校行事に取り組んでまいります。

2学期の学校経営では次の5点を重点として取り組みます。①話し合い活動を取り入れた学習の推進② ICT (タブレット)機器を用いた教育の推進③校内の環境整備(靴のかかと揃えを中心に)④学校応援団の整備と活用(学習ボランティアの活用)⑤新型コロナウイルス感染症予防の徹底。また、先日のリーバーでもお知らせしたとおり、学校職員に感染症が蔓延した際には、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。具体的には、調理員等のコロナ感染により給食が提供できない場合には、午前中の授業を3時間とし、短縮授業とします。その後引き渡しを行いますので、引き渡し訓練の時のように引き取りする方をリーバーでご連絡ください。また、担任等教職員に感染症が広がってしまい授業を行うことが困難な場合は、学級・学年閉鎖を実施します。そのため、この第7波が収まるまでは毎日タブレットを持ち帰らせますので、ご理解をお願いします。

2学期は1年間の中で一番授業日数の多い学期になります。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。